

令和元年度第2回厚木市子ども育成推進委員会会議録

日 時：令和元年11月7日（木）午後2時から午後3時50分まで

場 所：第二庁舎4階教育委員会会議室

出席者：子ども育成推進委員10人、こども未来部長、こども育成課長、こども政策係長、こども政策係担当者、保育課長、保育認定・給付係長、保育施設係長、青少年課長、青少年施設係長

傍聴者：1人

委員10人中10人出席（過半数）により会議は成立。

会議の経過は次のとおり。

1 開会

こども育成課長

2 委嘱式

笹生部長から委嘱状交付

3 挨拶

辻委員長

4 案件

(1) あつぎ子ども未来プラン（第3期）案について

事務局から資料に基づき説明

【質疑等】

委 員：厚木市の女性の就業率が全国に比べて低い理由は何か。

事務局：特に首都圏について女性の就業率が低い。核家族の家庭が多く、家庭で子どもを見る人がいないため、女性が子育てしなければならない状況がある。

委員長：農業就業等、第一次産業・地域産業が盛んな地域は、女性の就業率が高い。

委 員：ニーズ調査は、子育て世帯を対象に実施した調査か。

事務局：子育て世帯を対象に実施した調査である。

委 員：ニーズ調査結果のとおり、幼稚園、保育所等の施設に入園希望が多いことはイメージできる。現状、相談できる相手がない割合は、1割弱いる。親が就労している、していないに係わらず、児童館や放課後児童クラブの需要が高いことが興味深い。孤立している家庭もあることから、行政が一端を担っていかなければならないと感じる。

委員長：子どもが増加しているところは、児童クラブ数が増えているのか。

事務局：公立の児童クラブは、部屋はあっても指導員が足りず、児童を受け入れることができない児童クラブがある。そのため、全体の入所児童数は減っているが、待機児童数を加えると入所希望者数は増えている。

委員長：前回のニーズ調査結果と大きく変わった点は何か。

事務局：保育所や幼稚園等の施設の利用希望が増えている。相談できる相手がいない保護者の割合がやや増加している。今まで就労したことがない女性の割合が減り、就労している女性の割合が増えている。

委員：新しい個別事業である「親元近居・同居住宅取得等支援事業」は、親世代、子世代の支え合いができ、若い世代の人口増につながる素晴らしい取り組みであるため、周知をお願いしたい。

事務局：昨年から実施している事業であり、積極的に周知していく。特に人口が減っている地域で補助利率を上げるなど対策している。

委員：個別事業の「市立保育所の整備事業」について、以前、市立保育所はすべて民営化にする計画であったが、新たに整備するのか。

担当課：市立保育所の老朽化が進み施設の修繕が必要である。また、医療的ケアの必要な子どもや障がいをもった子どもが過ごしやすい施設にするため、バリアフリー化が必要と考えている。そのための整備である。

委員長：公立、私立で別々の事業があり分かりにくい。

委員：個別事業の細かい内容は、市ホームページで確認できるか。

事務局：各課で実施している事業については、基本的には市ホームページで確認できる。

委員長：第2期計画を継承しつつ、今後の動向が分かりやすい計画となっている。

事務局：今後、パブリックコメントの実施結果を反映し、計画を策定する。

(2) 幼児教育・保育の無償化について

事務局から資料に基づき説明

【質疑等】

委員長：無償化に伴う市の影響額はいくらぐらいか。

事務局：担当課で算出したところ、約2億円と想定している。国、県の負担割合が増えるため、市の負担は減る計算である。

委員：企業が実施している事業所内保育施設で、0歳児から5歳児まで受入れている施設は無償化の対象となるか。

事務局：3歳児から5歳児までは無償化の対象であるが、0歳児から2歳児までは所得制限がある。事業所内保育施設は職員の福利厚生的な部分もある。

委員長：現時点で無償化実施の影響はあるか。

事務局：幼稚園における預かり保育の利用希望や施設の事務量が大幅に増加した。児童数は減少しているが、幼稚園や保育所等の入所希望率は高まることが想定されている。

委員長：無償化の影響は、1年程度経過しないと全体が見えてこない。

事務局：今まで家庭の事情で子どもを預けなかった保護者が、無償化に伴い保育所等に預ける事例が出てきている。

(3) 厚木北児童館再整備に関する基本方針案について

担当課から資料に基づき説明

【質疑等】

委員：公民館とは別の施設になるのか。本厚木駅の北側と南側は、特に子どもが多い小学校区のため、郷土資料館跡地に児童館を建てることに賛成する。

担当課：公民館とは別の場所になる。他の施設の所管課とも協議し、安全で利用しやすい施設を設置したいと考えている。児童館としての機能以外に、幼児向け事業の実施も検討している。

委員長：利便性の高い施設にしていきたい。

委員：施設のバリアフリー化やソフト面での充実を図ってもらいたい。

担当課：施設の建設にあたっては、様々な部分に配慮した施設を考えている。そこを柱にソフト面も含めて検討していく。

5 その他

事務局から厚木市子育てガイド及び次回会議の開催予定について説明

6 閉会

沖潮職務代理

以上